

農業振興地域内の農用地区域除外申請書

申請日 令和〇〇年〇月〇〇日

瑞浪市長 様

申請人（土地所有者） 住 所 瑞浪市〇〇町〇〇
氏 名 瑞浪 和夫 ⑩
T E L 0572....

転用事業者 住 所 土岐市〇〇町〇〇
氏 名 瑞浪 誠 ⑩
T E L 0572...

1 除外を希望する土地

土地の所在 (町名・大字・字・地番)	台帳面積 (㎡)	除外希望 面積 (㎡)	地目		土地所有者	
			台帳	現況	住 所	氏 名
〇〇町字山ノ上 1023	150	150	田	田	瑞浪市〇〇町〇〇	瑞浪 和夫
〇〇町字山ノ上 1024	200	50	田	田	瑞浪市〇〇町〇〇	瑞浪 和夫

2 関係法令

農業公共投資 実施状況	事業名	県営ほ場整備事業	地区名	〇〇地区
	事業期間	昭和 53 年度～ 58 年度	事業主体	岐阜県
	事業完了 公告日	昭和 58 年〇月〇日	完了後 8 年	経過 未経過
農地取得経過関係	取得後 3 年 経過・未経過 取得年月日 平成 2 年 3 月 8 日			
公道との接続関係	幅員 4 m (国道・県道・市道・法定外道路) 接続、公道に不接続			

3 除外理由

除外の目的	一般個人住宅	事業の	着工	令和〇年 6月1日
		予定	完了	令和〇年 12月1日
除外理由				
<p>今回申請する土地の隣に現在4名で居住しているが、アパートに居住している長男夫婦家族4名がこちらに帰ってくるという事で、同居しようと考えたが、現在の住宅では7人で生活するには手狭なため、長男夫婦の住宅を現在居住している住宅に隣接している申請地に建築したい。また、今後長男に農業を引き継いでいく予定である。</p>				
除外の緊急性				
<p>次男が生まれ、長男の子が小学校に入学するにあたり、生活の拠点を安定させる必要があるため、令和〇年度中に建築したい。</p>				
除外面積の妥当性				
<p>〇〇町字山ノ上1024については、200㎡の内50㎡を分筆し、〇〇町字山ノ上1024の150㎡と合わせた必要最小限の200㎡に住宅、庭、駐車場を建築する。</p>				

4 土地の選定理由

除外を希望する土地が農振農用地区域外の土地で代替できないか、除外しようとする者の所有地が農用地区域外にない場合は、農用地区域外の農地と交換して利用できないか等について検討してもなお農用地区域外に代替すべき土地がないこと。

他に申請（所有）できる土地	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ある ない </div>
他に申請（所有）できる土地がある場合に、申請地でなければ立地できない合理的理由、選定根拠についての説明 周辺農地及び農業用施設への対応	他にも土地を所有しているが、所有地では住宅を建てられ
	る場所が申請地以外に無く、今後息子にも農業を引き継いで
	いきたいと考えているため、地元生活拠点を置いてほしい。
	西側は道路、北側は宅地、東側・南側は農地であるが、東
	側については、所有者の承諾を得ており、南側は自己所有地
	である。

代替地の検討経緯	検討した代替地の所在 (字名・地番)	土地所有者	代替できない理由
	川ノ下 500-1	瑞浪 和夫	面積が 30 m ² と狭小なため。
	川ノ下 501	瑞浪 和夫	現在居住しているため。
	山ノ中 1010-1	瑞浪 和夫	山中にあり、接続道路がないため。
	山ノ上 1020	瑞浪 和夫	圃場整備地内の中心にあるため。
	山ノ上 1030	瑞浪 和夫	土砂災害特別警戒区域のため。
	山ノ上 1040	恵那 博	交換・賃貸借を申し出たが断られたため。

分筆する場合の 残地利用計画	残地については農地として利用します。
-------------------	--------------------

5 添付書類

提出書類	今回添付したものに○印	備考
位置図	○	市販の住宅地図等のコピーを使用し、申請地を赤色で囲むこと
公図又は字絵図の写し	○	申請地を赤色で囲むこと 図面に代替検討地がある場合、青色で囲むこと 交付場所：法務局、市税務課
平面図及び配置図	○	資材置場・駐車場等については配置図だけ。
登記簿謄本	○	交付場所：法務局
課税台帳兼名寄帳	○	交付場所：市税務課、コミュニティーセンター
代替地を表示した図面	○	所有している土地全てを記載すること
委任状	○	土地所有者が除外申請手続きを行わない場合 別紙様式
始末書		事前に無断転用が行われた場合のみ 別紙見本参照
家族書	○	住宅（新築・増改築）等の場合 家族構成・入居予定者を明記すること 別紙様式
現況写真	○	1ヶ月以内に撮影されたもの 付近の状況を含め3方向から撮影すること 別紙様式に貼り付けること（カラーコピー可） 申請地を赤色のマジックで囲むこと
隣地承諾書	○	申請地の隣接地が農地の場合、所有者または耕作者の 自署捺印をもらう 別紙様式
農振除外後に転用に関する確約書	○	転用事業者の自署捺印 別紙様式
排水承諾書		申請地から農業用水等へ排水する場合、水利権者等の 自署捺印をもらう 任意様式
その他、特に指示したときはこれに関する書面		

※ 住宅の場合、除外は500㎡を上限とします。やむを得ず超えるときはその理由書・面積計算書等を添付すること（様式任意）。

※ 登記簿謄本を除き、提出書類はA4又はA3サイズを用いること。

委任状

令和 年 月 日

住 所 土岐市〇〇町〇〇

行政書士

氏 名 土岐 一郎 ⑩

私は、上記の者に下記不動産の農用地区域除外申請に関する一切の権限を委任します。

不動産の表示

〇〇町字山ノ上 1023

〇〇町字山ノ上 1024

申 請 人

住 所 瑞浪市〇〇町〇〇

氏 名 瑞浪 和夫 ⑩

始末書

令和 年 月 日

瑞浪市長 様

住 所

氏 名

印

下記の不動産について、農用地区域除外申請許可前に転用したことを深く反省し、今後農振法を遵守しこのような事のないように誓約し今回限りご寛大な処置に預かりご許可下さいますようお願い申し上げます。

無断転用の理由

不 動 産 の 表 示

瑞 浪 市

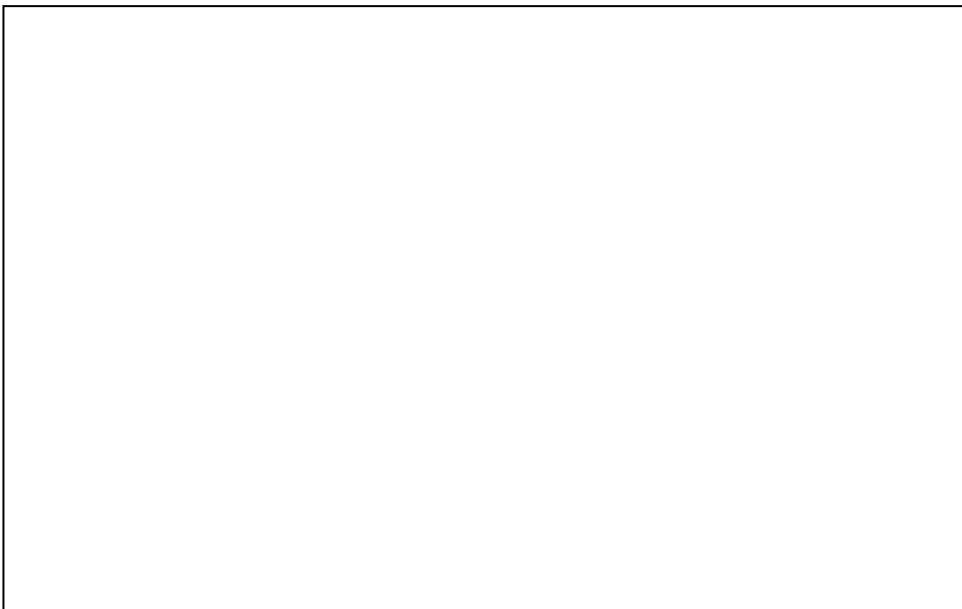
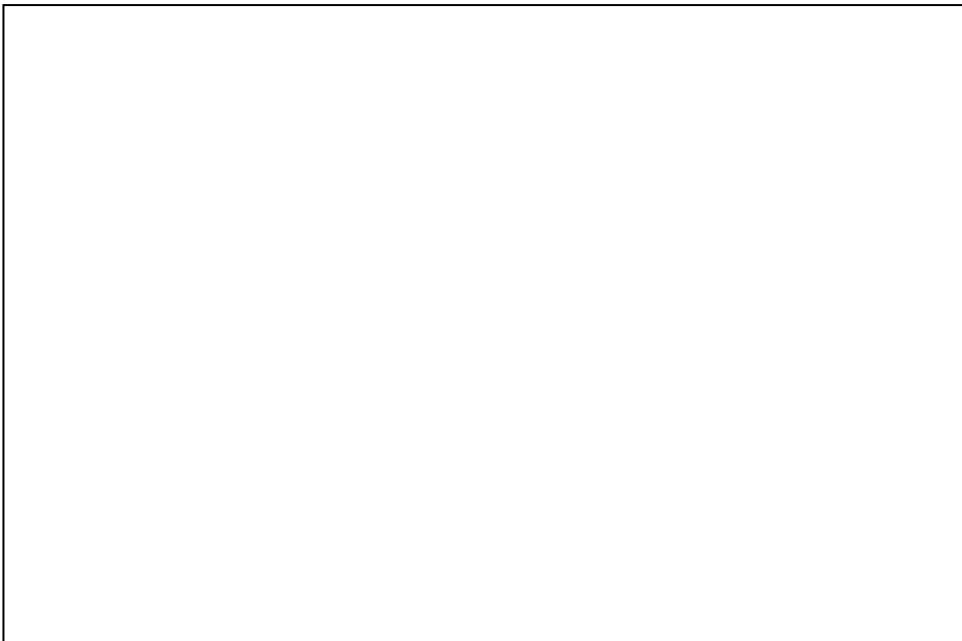
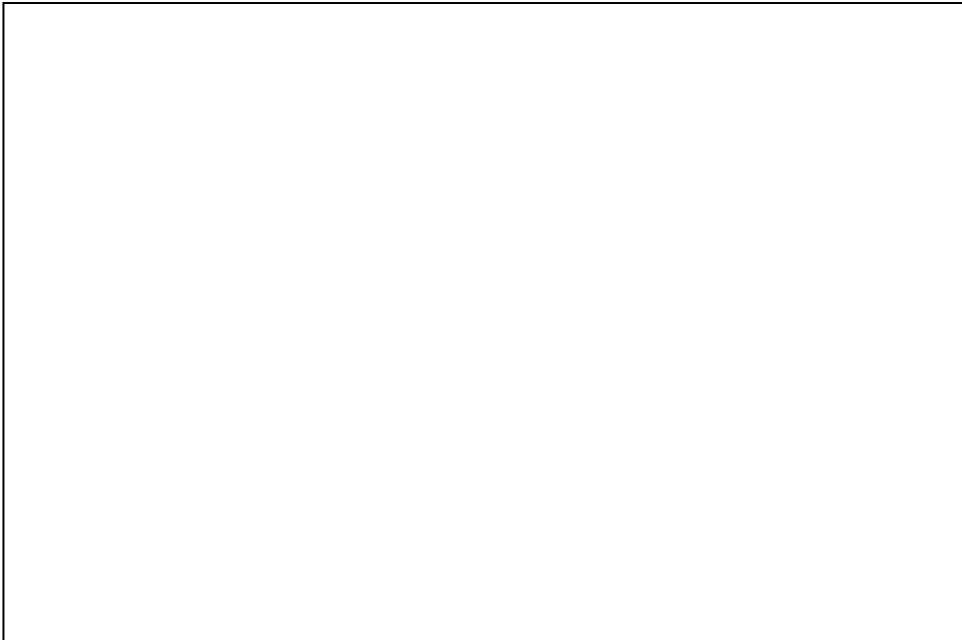
家 族 書

(令和〇〇年 9 月 3 0 日現在)

家 族 構 成				
氏 名	続柄	生年月日 (満年齢)	職業 勤務先 通学先 (学校・学年)	除外許可後新 家屋入居予定 者に〇印
瑞浪 和夫	本人	昭和 22 年 4 月 1 日 (満 65 才)	無職	
瑞浪 和子	妻	昭和 24 年 5 月 2 日 (満 63 才)	無職	
瑞浪 花子	母	大正 13 年 6 月 3 日 (満 88 才)	無職	
瑞浪 誠	長男	昭和 57 年 8 月 5 日 (満 30 才)	瑞浪陶器 会社員	○
瑞浪 愛	長男 の妻	昭和 60 年 9 月 6 日 (満 27 才)	無職	○
瑞浪 陽奈	長男 の子	平成 18 年 10 月 7 日 (満 5 才)	瑞浪幼稚園 年長	○
瑞浪 大翔	長男 の子	平成 24 年 9 月 8 日 (満 0 才)		○

現 況 写 真

撮 影 (年 月 日)



隣地承諾書

瑞浪 和夫 様

○ 転用する土地の所在、地目、面積

今般、あなたが上記の土地を農振農用地から除外し、農地法第5条の許可を得て、一般個人住宅に転用されることについては、隣地農地所有者（耕作者）として何ら意義なく承諾します。

令和〇〇年△月△△日

1 隣地農地所有者 住所 瑞浪市〇〇町〇〇

氏名 多治見 清 ⑩

2 隣地農地の所在、地目、面積

〇〇町字山ノ上 1022 地目：田 300 m²

農振除外後の転用に関する確約書

令和〇〇年〇月〇〇日付けで提出した、下記農用地等の農振農用地区域除外申請につき、県との協議が認可された場合には、当該申請内容のとおり遅滞なく農地転用許可申請を行うことを確約いたします。

なお、除外認可後1年以内に、正当な理由なく前記転用許可申請を行わない場合には、職権により農振農用地への編入手続きをされても差し支えありません。

記

土地の表示

大字	字	地番	地目		面積 (㎡)
			台帳	現況	
	山ノ上	1023	田	田	(150 の内)
	山ノ上	1024	田	田	(200 の内) 50
					(の内)
					(の内)

事業の内容 一般個人住宅の建築

瑞浪市長 殿

令和 年 月 日

転用事業計画者

住所

土岐市〇〇町〇〇

氏名

瑞浪 誠 印

瑞 浪 市